

事業報告書

団体名	白川振興会議
代表者役職・氏名	会長 小 畑 けい子
事業名	住民主体の地域内交通事業
実施した事業の内容 ・活動内容 ・実施日時 ・場所 ・参加人数等	第1回 白川公共交通学習会 日 時： 8月29日（木）13時30分～15時30分 場 所：白川公民館 参加人数：17名（予定人数 21名） 活動内容：「第六次白石市総合計画 白川まちづくり宣言」の実現に向けた地域内交通について地区住民から幅広く意見交換することで課題が見えてくることで今後の取り組みについて全戸配布のアンケートを実施することになった。 アンケートを実施することで地区内交通の住民意識高揚につなげたいと考える。 アンケート内容については、別紙のとおりである。 第2回 白川公共交通学習会（アンケート報告） 日 時：2月10日（月）13時30分～15時40分 場 所：白川公民館 参加人数：30名（予定人数 40名） 活動内容：講師の先生からアンケート調査結果分析について説明があった。5グループに分かれ、アンケートについてグループワークを実施した。話し合いの中では、高齢者の買い物や通院に対しての不安や一人暮らしの高齢者は、「何かあったときの対応」についてとても不安でならない等、多くの意見が出された。 また、タクシー利用だと総合病院まで片道4,700円料金が発生するので大変だと言ったような切実な声も聞かれた。 次年度も、白川地区にあった公共交通になるよう勉強会を開催し地域住民の足となるような方向で検討していく。

事業の成果や効果	少子高齢化社会の中で、公共交通について意見交換することで課題や問題点が見えてきた。高齢者の皆さんは毎日不安を抱えながら生活していることも言葉に出して皆さんと意見交換することで共有することができ成果があった。 お茶のみ話でなく、勉強会の中で皆さんと情報共有できたのは大きい効果である。
今後における事業展開	地区内公共交通は、あくまでまちづくりの取り組みにおける手段のひとつで必要性について今後も情報共有しながら取り組んでいきたいと考えている。 次年度も勉強会での対話の機会をつくり振り返りをしたり将来について話したり、やってみたいことなども話している中から見つけ、自分たちで楽しく活動できる場をつくる必要があると思う。 今後も、多くの住民に勉強会に参加していただき住み続けられる白川地区にしていきたい。

【地域づくり団体等→まちづくり協議会等】

様式第Ⅴ号④

収 支 決 算 書

団体名 白川振興会議

1. 収入の部

(単位:円)

項 目	予算額	決算額	摘 要
白石市人と地域が輝く 未来共創交付金	307,107	307,107	
計	307,107	307,107	

2. 支出の部

(単位:円)

項 目	予算額	決算額	うち交付金対象額
講師謝金	264,000	264,000	264,000
消耗品費	35,647	35,647	35,647
通信運搬費	6,580	6,580	6,580
振込手数料	880	880	880
計	307,107	307,107	307,107

※支出を証する書類（領収書等）の写しを添付すること。